

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

レジャー・エンタテインメント領域の情報・サービスを提供し、心の豊かさをサポートする「感動のライフライン」を構築。

売上高
470億円

営業利益
34億円

経常利益
32億円

親会社株主帰属当期純
23億円

② 中長期の経営戦略

1. 基幹事業の拡充

チケットング事業、興行・イベント企画主催事業、ホール・アリーナ運営事業等の拡大および周辺ビジネスの拡大。

3. 大規模イベント対応

大阪・関西万博、世界陸上のチケットング受託事業の完遂を目指す。

2. 新規事業投資

デジタルメディア・データマーケティング事業、ホスピタリティ事業、グローバル・イベント事業等への投資拡大。

4. 事業基盤の抜本改革

従来のチケット販売事業依存から、新たな事業・サービス創出により持続的成長可能な構造へ転換。

③ 対処すべき課題

① 累損一掃と復配実現

- ・2024年度末▲9億円の累損を2025年度中に一掃。
- ・コロナ禍により無配だった状態から復配を実現。

② 事業構造のデジタル化推進

- ・ITを最大限活用したサービス提供の実現。
- ・デジタルメディア・データマーケティング事業の着実な伸張。

③ 市場環境への適応

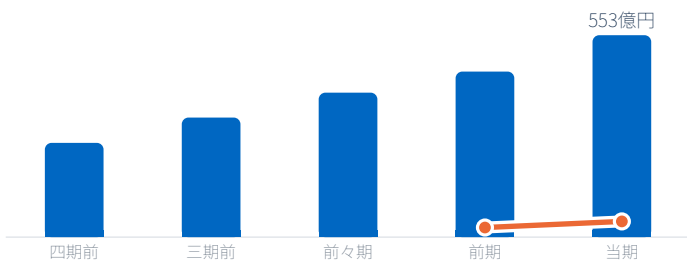
- ・ライブ・イベント開催の活発化に対応したチケットング事業強化。
- ・国内レジャー・集客エンタテインメント市場の好況を追い風とした拡大。

面接で使えるポイント

- ・コロナ禍で▲49億円の累損から2025年度の復配実現に向けた経営改革を推進している。
- ・大阪・関西万博、世界陸上などの国際的イベントのチケットング受託を新規事業として展開。
- ・チケットングビジネスを核とした「感動のライフライン」構築を長期ビジョンに掲げている。

証券コード 4337

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
553億円営業利益率
7.8%財務健康度
37点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 55.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
880万円

サービス業内 42位/524社

平均年齢
38.6歳

サービス業内 261位/527社

平均勤続
8.0年

サービス業内 204位/527社

女性管理職
35.4%

サービス業内 64位/371社

男性育休
28.5%

サービス業内 276位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: イ・ジュンギが独占ロングインタビューとともに歴代最多の表紙登

